

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 さかい(旧社名 株式会社焼肉屋さかい)

コード番号 7622 URL <http://www.yakiniku.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 緒方 智

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 中澤 剛介

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	5,781	△26.4	81	△80.6	81	△81.4	△11	—
21年3月期第3四半期	7,855	—	418	—	437	—	397	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△0.54	—
21年3月期第3四半期	19.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	5,193	2,127	41.0	94.65
21年3月期	5,516	2,083	37.8	94.50

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,127百万円 21年3月期 2,083百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,683	△24.4	201	△58.1	213	△56.7	70	△84.6	3.14

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	22,662,000株	21年3月期	22,227,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	181,320株	21年3月期	181,320株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	22,192,788株	21年3月期第3四半期	20,445,680株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とした新興諸国の経済回復に牽引され、一部では回復基調が見られるものの本格的な回復には、ほど遠い状況で推移いたしました。また、国民生活においても、雇用及び所得環境の悪化傾向が顕著であり、先行き不安による生活防衛意識が一層の強まりを見せております。

外食産業におきましても、これまでの外食控え等に加えて一定の消費行動が定着し、少ない外食機会の中でも低価格・低単価の店に顧客が集中する傾向が強まっております。各社とも、その消費心理と行動に適応すべく「低価格業態の開発」や「サービス（値引き）競争」への対応を余儀なくされており、特に外食企業にとっては非常に厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社では引き続き、「不況下においても選ばれる店舗」を目指し、商品及びサービスのブラッシュアップを継続してまいりました。また、主力の直営店事業においては、12月の売上高前年同月比100%の達成を目標に掲げ、これまで以上の大型販売促進企画、TVコマーシャル（一部）、値引きセール等の積極的なプロモーションに取り組んでまいりました。

しかしながら、12月の客数実績は110%を達成したものの、現在の経済状況を反映してか当初予定の客単価を大きく割り込む結果となり、売上高は計画数値に届きませんでした。但し、客数の回復自体は今後に繋がる大きな成果であると考えており、店舗の活性化と収益への貢献に向けて更なる努力を続けてまいります。

なお、当第3四半期において、現在注力している低価格焼肉業態「大阪カルビ」を含めた5店舗のリニューアルを実施しておりますが、特に「大阪カルビ」は変わらず好調に推移しており、今後のリニューアルに関しましても「大阪カルビ」への業態転換を推進することでブランドの強化と定着を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高5,781百万円（前年同期比26.4%減）、営業利益81百万円（前年同期比80.6%減）、経常利益81百万円（前年同期比81.4%減）、四半期純損失11百万円（前年同期は四半期純利益397百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ322百万円減少し、5,193百万円となりました。主な要因は商物流取引の業務移管に伴う売掛金の減少及び差入保証金の減少によるものであります。負債合計につきましては、前事業年度末と比べ366百万円減少し、3,066百万円となりました。主な要因は有利子負債の減少、未払金の減少、未払消費税等の減少及び商物流取引の業務移管に伴う買掛金の減少によるものであります。純資産につきましては、前事業年度末と比べ44百万円増加し、2,127百万円となりました。主な要因は、第三者割当増資による資本金ならびに資本剰余金の増加によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年11月10日に修正発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,384	85,891
売掛金	153,759	308,967
商品	26,367	22,186
原材料及び貯蔵品	33,481	36,574
その他	259,593	332,787
貸倒引当金	△36,988	△36,457
流動資産合計	529,598	749,951
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,371,810	1,361,727
土地	1,851,248	1,851,248
その他(純額)	233,368	237,167
有形固定資産合計	3,456,426	3,450,144
無形固定資産	78,601	77,316
投資その他の資産		
差入保証金	1,074,545	1,155,683
その他	281,137	352,579
貸倒引当金	△226,385	△269,614
投資その他の資産合計	1,129,297	1,238,649
固定資産合計	4,664,326	4,766,110
資産合計	5,193,924	5,516,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	326,130	367,753
短期借入金	520,809	689,938
1年内償還予定の社債	156,000	—
1年内返済予定の長期借入金	200,890	774,620
未払法人税等	32,257	47,302
賞与引当金	14,500	11,130
閉店損失引当金	25,305	65,217
その他	352,488	452,354
流動負債合計	1,628,381	2,408,315
固定負債		
社債	624,000	—
長期借入金	466,000	623,070
その他	347,856	401,288
固定負債合計	1,437,856	1,024,358
負債合計	3,066,237	3,432,674

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,745,217	1,720,205
資本剰余金	105,412	80,400
利益剰余金	443,681	455,602
自己株式	△166,624	△166,624
株主資本合計	2,127,687	2,089,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△6,196
評価・換算差額等合計	—	△6,196
純資産合計	2,127,687	2,083,387
負債純資産合計	5,193,924	5,516,061

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	7,855,022	5,781,296
売上原価	3,102,793	1,956,098
売上総利益	4,752,229	3,825,198
販売費及び一般管理費	4,333,520	3,744,071
営業利益	418,708	81,126
営業外収益		
受取利息	7,689	5,716
受取配当金	654	141
不動産賃貸料	113,052	137,083
協賛金収入	97,574	57,003
その他	4,409	8,528
営業外収益合計	223,380	208,472
営業外費用		
支払利息	63,280	38,876
不動産賃貸原価	114,233	135,757
支払手数料	24,935	4,187
その他	2,194	29,439
営業外費用合計	204,644	208,259
経常利益	437,444	81,339
特別利益		
固定資産売却益	1,000	9,836
投資有価証券売却益	4,917	—
貸倒引当金戻入額	24,876	—
事業譲渡益	112,113	—
特別利益合計	142,906	9,836
特別損失		
固定資産除売却損	32,982	7,825
減損損失	46,020	813
投資有価証券売却損	3,216	6,933
投資有価証券評価損	1,997	—
賃貸借契約解約損	2,250	—
閉店損失引当金繰入額	59,499	25,395
その他	5,541	—
特別損失合計	151,507	40,968
税引前四半期純利益	428,844	50,207
法人税、住民税及び事業税	30,005	30,194
法人税等調整額	1,313	31,934
法人税等合計	31,319	62,129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	397,524	△11,921

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	428,844	50,207
減価償却費	173,031	134,952
減損損失	46,020	813
差入保証金償却額	23,674	20,737
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,274	3,370
閉店損失引当金の増減額 (△は減少)	59,499	△39,911
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,876	△42,698
受取利息及び受取配当金	△8,344	△5,857
支払利息	63,280	38,876
事業譲渡損益 (△は益)	△112,113	—
固定資産除売却損益 (△は益)	31,982	△2,011
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,701	6,933
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,997	—
貸借契約解約損	2,250	—
社債発行費	—	20,115
売上債権の増減額 (△は増加)	44,916	199,690
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,886	△1,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,816	△41,623
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28,476	△47,365
預り保証金の増減額 (△は減少)	△2,827	△9,626
その他	△21,940	△40,380
小計	698,966	245,134
利息及び配当金の受取額	5,126	3,433
利息の支払額	△67,671	△33,142
法人税等の支払額	△38,752	△40,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	597,669	175,167
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△233,331	△146,102
有形固定資産の売却による収入	112,402	11,699
投資有価証券の売却による収入	56,470	17,056
事業譲渡による収入	356,118	—
事業譲受による支出	△74,838	—
差入保証金の差入による支出	△59,963	△807
差入保証金の回収による収入	4,447	38,453
貸付金の回収による収入	24,074	3,235
その他	△8,381	△1,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	176,999	△77,655

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	66,126	△169,128
長期借入れによる収入	370,000	70,000
長期借入金の返済による支出	△1,379,130	△800,800
社債の発行による収入	—	759,884
株式の発行による収入	—	50,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△943,004	△90,019
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△168,334	7,493
現金及び現金同等物の期首残高	279,647	85,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,313	93,384

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。